

名前【  】



## ふわり マダコの赤ちゃん マリンピア神戸

神戸市立水産体験学習館「マリンピア神戸さかなの学校」(同市垂水区)でマダコがふ化し、赤ちゃんタコが小さな体で懸命に泳ぐ愛らしい姿が見られる。

マダコは春や秋に産卵することが多いが、同館で昨年10月から近海の雌タコを飼育したところ、同12月中旬に水槽内で産卵。今年1月中旬にふ化した。赤ちゃんを育てるのは難しいという。

同館教頭の安室春彦さん(34)によると、マダコは一生に一度しか産卵しない。今回の母タコ

は卵を守り始めるとほとんど餌を食べなくなり、卵の房に水をかけて酸素を送ったり、腕で卵をなでたりし、ふ化するとその生涯を閉じた。

赤ちゃんタコは現在、体長約5ミリ。食欲旺盛のため餌が絶えないようにしている。安室さんは「身近な存在だからこそ気づかなかった不思議や感動がある。ぜひ観察しに来てほしい」と話している。無料。午前10時～午後5時。水曜休み。マリンピア神戸さかなの学校 ☎078・706・5550 (秋山亮太)

愛らしい姿で水槽の中を泳ぐマダコの赤ちゃん // 神戸市垂水区 海岸通



動画はコチラ

- ①マダコがふ化し、赤ちゃんタコが小さな体で懸命に泳ぐ愛らしい姿はどこで見られますか。

- ②春や秋に産卵するマダコがどうしてここで生まれましたか。

- ③同館教頭の安室春彦さんの話から今回のマダコの産卵についてまとめよう。

マダコは  しか産卵しない

母タコは

- ④赤ちゃんタコの取材当時の体長はどれだけで、どんな様子でしたか。

体長

様子

- ⑤マダコについてさらに調べてみましょう。